

かわまちづくりDeいい那珂暮らし ～那珂西リバーサイドパークの開園まで～

Kawamachi-zukuri De-ii-Naka Living



しいな たけふみ
椎名 健文*
SHIINA Takefumi

【那珂市の紹介】

那珂市は茨城県の中央よりやや北に位置し、県庁所在地の水戸市に隣接しています。市の西側には「那珂西リバーサイドパーク」のある那珂川、北東側には久慈川が流れており豊かな水辺と自然環境があります。また、市内には南北に3つの国道が伸びており、JR水郡線や市中央に茨城県北部地域の玄関口となっている常磐自動車道那珂インターチェンジがあります。東京からは1時間半ほどとアクセスも良く、近年、いい具合に田舎の環境ながら生活に便利で暮らしやすい街として注目されつつあります。

那珂市では、まち・ひと・しごと創生総合戦略の一環として「いい那珂暮らし」をキャッチコピーにシティプロモーションを進めており、観光や交流促進のための取組を通じて地域の魅力の認知を広げ、定住人口の増加を目指しています。



平成25年8月にNPO法人那珂市サッカー協会をはじめとした市内スポーツ団体からグラウンド整備の要望書が市に提出されたことをきっかけに、徐々に施設整備の機運が高まり、平成28年2月に地区の住民代表、市職員、土地改良区、市内スポーツ団体等が参加しての「かわまちづくり勉強会」の開催に至りました。はじめての勉強会では、かわまちづくり制度について学び、計画策定までのスケジュールや組織体制などについて話し合いました。その後、かわまちづくり推進協議会を設立、計画申請までに3回のワークショップを開催した中で、市の代表的なまつりである「なかひまわりフェスティバル」や地区交流センターでのアンケート調査を実施するなどして、より多くのかたから施設整備に係る意見を求めました。また、現地見学会を開催し予定地の現況を見てもらうことで、どのような施設にしていきたいかを具体的にイメージしながら活発な意見交換を行い、計画の基本構想案に「市民活動の交流の場」、「スポーツ・レクリエーションの場」、「環境学習の場」、「防災・水防訓練の場」を盛り込むこととしました。また、「いい那珂暮らし」と「かわまちづくり」をコラボさせたロゴを作り、交流促進や定住促進に繋げるために活用して市内外へアピールしていくこととしました。

【かわまちづくりの道のり】

「那珂市戸多地区かわまちづくり」は、川の良さを再発見できる水辺や多目的に活用できる広場を整備するとともに、「まちづくりの主役は市民」という認識を原点にスポーツや交流イベントなどの取組を行うことにより、地域の魅力向上を図ることを掲げました。



いい那珂暮らし ロゴマーク

こうして、「戸多地区かわまちづくり計画案」を取りまとめ、平成29年3月にかわまちづくり支援制度に事業登録となりました。

*那珂市 教育部 生涯学習課 スポーツ推進室 室長
Sports Promotion Office, Naka City, Ibaraki Prefecture

平成30年10月から国土交通省による整備工事が開始されましたが、この間にも協議会やワークショップを開催し、「那珂川クリーン作戦」として計画該当区域の一斉清掃などを行い地域住民や関係する団体に自らが関与する意識の醸成を図りました。令和元年夏には、サッカー協会が主体となって多くの子どもたちや保護者、指導者が集まり芝苗の植え付けイベントを行い施設への愛着を深めてもらいました。秋にはせっかく芝苗を植え付けたグラウンドが台風により冠水して一面が泥に覆われる被害もありましたが、関係者で協力して泥を除去し、その苦難を乗り越えてきました。令和3年にもサッカー協会による芝生の移植作業を行い、こうして徐々にグラウンドらしい姿に近づいていきました。8月には、間もなく完成を迎える施設の名称を広く市民から募集し、多数の応募をいただいた中から、場所がイメージしやすく、愛着を持ってもらえる名前に候補を絞り、これまで市の体育施設には無かったカタカナを使用した名称に決定することができました。11月には一般市民を対象とした現地見学会を実施して、整備した護岸や災害時にはヘリポートにもなる駐車場、堤防を利用した階段型観客席などを歩いて回り、実際に見てもらうことで新たにできる施設の周知を図りました。



令和3年現地見学会（階段型観覧席）



開園式典

令和4年5月1日には待望の施設開園式典を、コロナ禍ではありましたが盛大に開催することができました。式典には、これまでご協力をいただいた協議会のみなさんをはじめ、施設名称採用者や国・県・市の関係者、開園を待ちわびていた市内サッカースポーツ少年団の子どもたちなどが集結しました。司会者の合図で、来賓の方々によるテープカットを行うと同時に、子どもたちが一斉に色とりどりの風船を大空に放ちました。このとき那珂川の河川敷は、これまでには無かった新たな景色となって歓声に包まれていました。さらには、子どもたちによるサッカー記念試合が行われ、広々としたグラウンドで歓喜に満ちた表情でボールを蹴る子どもたちと、それを見つめる保護者や式典出席者の姿は、これまでの計画立ち上げから整備に携わってきた人々の苦勞が報われたものとなりました。

【これからの取組】

開園して約1年となる公園は現在、土日はサッカーの利用で予約がほぼ埋まり、練習や大会などで賑わっています。平日の利用も徐々に増え、令和5年度は防災訓練なども予定されていますが、地域住民によるイベント等の実績はまだありません。今後は、計画の段階で上がっていた朝



第3回ワークショップ



令和元年芝苗植付イベント

市や地域のまつりが開催されるように、施設の周知に努めてまいります。また、市が進める「いい那珂サイクルプロジェクト」において、那珂川沿いを走るサイクリングルートやサイクルサポートステーションとなっており、今後のサイクルイベントなどでの活用が見込まれています。



サイクリングイベント

施設管理の面では、市サッカー協会と管理協定を締結し日常の芝刈りを市と協働で行っていますが、施設整備要望当時はまだ増加傾向にあった市内のサッカー少年団員数も現在は減少に転じ、少年団組織の維持と施設の維持管理体制を継続していくことが必要となっています。また、普段は無人となっている施設のため、ゴミの不法投棄やグラウンドへの車の乗り入れなど一部の利用者にルール違反が見られるため、注意看板の増設や頻繁な見回りが必要となっています。一方で個人による自主的なゴミ拾い活動も見受けられており、この活動を今後は地域住民が一体となった環境美化活動に繋がるように取り組んでいきたいと考えます。

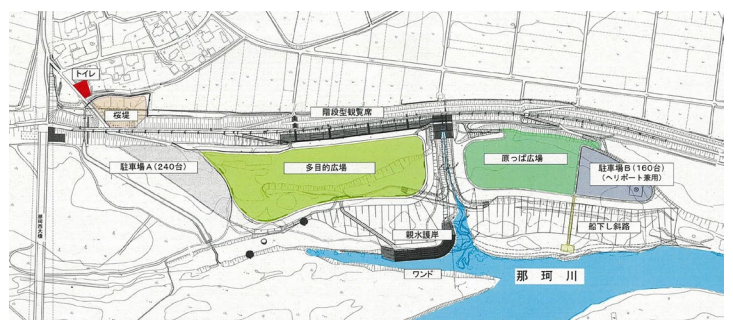
那珂西リバーサイドパークは、普段は那珂川の自然に触れながら誰でも気軽に散歩やスポーツを楽しめる公園として、また、まつりやイベントなど地域コミュニティ活性化の場となることが期待されており、今後さらなる活用が図られるよう一層努力してまいります。



施設全景

「那珂西リバーサイドパーク」開園までの歩み

平成25年	5月	市サッカー協会から市議会へ施設整備要望書提出
	8月	市内スポーツ団体から市長へ施設整備要望書提出
平成28年	2月	かわまちづくり勉強会
	7月	かわまちづくり支援制度推進協議会設立(第1回協議会)
	8月	第2回協議会
	8月	第1回ワークショップ
	9月	第2回ワークショップ
	11月	第3回ワークショップ
平成29年	11月	第3回協議会(戸多地区かわまちづくり計画案承認)
	1月	「戸多地区かわまちづくり計画」申請
	3月	「戸多地区かわまちづくり計画」事業登録
	5月	戸多地区かわまちづくり報告会
	7月	第4回協議会
平成30年	8月	第4回ワークショップ
	8月	第5回ワークショップ
	2月	第5回協議会
	7月	那珂川クリーン作戦
平成31年	7月	第6回協議会
	10月	国土交通省第1期基盤整備工事開始
	2月	現地見学会
令和元年	5月	国土交通省第1期基盤整備工事完了
	7月	芝苗植付イベント
	10月	国土交通省第2期整備工事・市第1期整備工事開始
令和2年	10月	台風19号被災
	3月	国土交通省第2期整備工事・市第1期整備工事完了
	9月	第7回協議会
	10月	市第2期整備工事開始
令和3年	5月	市第2期整備工事完了
	5月	第8回協議会
	6月	芝移植作業
	8月	施設名称公募
	11月	施設現地見学会
	11月	市第3期整備工事開始
令和4年	12月	「那珂西リバーサイドパーク」名称決定
	3月	市第3期整備工事完了
	4月	供用開始
	5月	開園式典



施設平面図